



[Ishikari]

2016
Vol.335

JAいしかり 12

発行/石狩市農業協同組合



主な記事

- ニュースファイル 1
- JAグループ通信 5
- 今月の技術情報 6

「年賀状、どんな絵柄が良いかな」と思案する、今年も雪降る頃になり、来年もよい年でありますように。

平成28年度 新穀感謝祭

新穀感謝祭が11月16日に石狩八幡神社において執り行われました。当日は役員13名、部長3名にて執り行い、神官の祝詞奏上の後、参列者が玉串奉奠を捧げ厳かに五穀豊穡、組合員皆様の家内安全と無病息災を御祈願し感謝いたしました。

今年度米穀につきましては、当初契約予定数量39,436俵に対して、40,691俵（11月30日現在）となっており、1等米比率100パーセントの実績となりました。

また、共撰選果物については、販売高10億1,024万円となりました。（10月30日現在）



来年も更に豊穡の年になります様にと御祈願

石川県金沢市より 感謝状を授賞



当JAへ石川県金沢市長より金沢市中央卸売市場（丸果石川中央青果株）への品質・規格とも優秀な青果物を継続的に多量に出荷し、金沢市場の発展と金沢市民の食生活安定に大きく貢献したことに對

して感謝状と記念品が贈呈されました。丸果石川中央青果株には、7月からブロッコリーをはじめ人参、大根、ミニトマト、さやえんどうの共撰品を出荷しています。今後は長芋、ゴボウなども出荷予定となっております。

■平成28年度の金沢市場向けの 青果物販売金額は次のとおり (10月末実績)

ブロッコリー	177,531千円
人参	60,060千円
大根	25,865千円
ミニトマト	26,993千円
さやえんどう	5,795千円
スナップえんどう	1,755千円
合計	297,999千円

花畔北区 坂井健吉氏 石狩市産業経済功労賞受賞

11月25日、石狩市総合保健福祉センターにて石狩市産業経済功労賞授賞式が行われ、花畔北区の坂井健吉氏が受賞されました。

主な功労・功績・善行として農業協同組合の理事として15年間に亘り農協運営と農業の発展に寄与され、在任中は、営農・経済委員長として1期3年、管理・金融委員長として2期6年努められ、石狩市の農業振興にご尽力頂きました。また、平成17年からは、石狩市農業所得協力委員会の副会長を5年間、平成22年からは会長に就任し、農業簿記・青色申告の普及や税申告を通じて市全体の農業者の所得の向上、安定に寄与され現在も続けており、長年多岐にわたる石狩農業の発展のために努められ、これらの功績が認められ、今回の受賞となりました。

坂井さんは今回の受賞に対して「組合長をはじめとする農協役員、地域の組合員の支えがあつて頂くことが出来ました」と受賞のお礼の言葉を述べられました。



後志・石狩地区合同JA青年部研修会開催

後志・石狩地区合同JA青年部研修会が11月9日、札幌パークホテルにて開催されました。当JA青年部からは6名が参加、総勢242名のJA青年部員が出席し自己の研鑽と親睦を図りました。

午前の研修会では後志地区の自らの農業体験を発表する「青年の主張発表会」、石狩地区の「活動実績発表会」が行われました。

午後からは、「力強い農業」とは、「豊かな魅力ある農業・農村」とは何かというテーマをもとに参加者全員によるグループディスカッションを行い活発な意見交換を行いました。

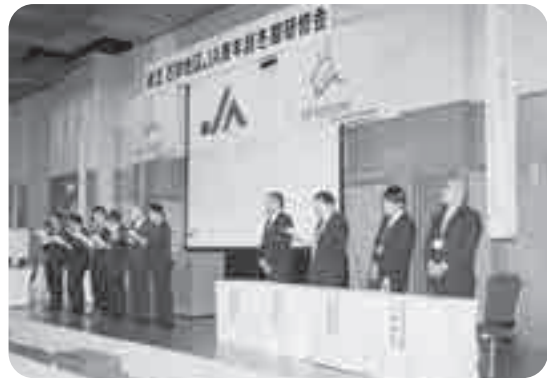
研修会終了後の懇親会ではアームレスリング大会に当JA青年部を代表して紺田直也君が出場しましたが惜しくも1回戦で敗退しました。

また、更に純農ボーイコンテストに石狩地区を代表して成田和広君が12月1日の全道JA青年部大会に出場する為、お披露目として増田青年部長の紹介のあと出場する意気込み等を発表しました。



純農ボーイコンテストに出場する成田和広さん(右)

今回の研修会で、新しく意見交換などで盟友同志議論を交えることで、更に青年部の存在意義を再認識しより一層の意識向上をはかることのできた一日となりました。



平成28年度 JA北海道女性大会・北海道家の光大会開催



中央会飛田会長の懇親会挨拶の様子

P F代表取締役、西原憲一氏が講演「エンディングノートについて」が開催された他、書類審査の上、上位3名による家の光記事活用体験発表、食料・農業・農村ジャーナリスト大金義昭氏が講演

「今日の自分が一番若い、いのちの花を咲かせましょう！」が開催されました。懇親会では、JA北海道中央会飛田会長も参加され、各地区からユニークなアトラクションやカラオケで会場は大変賑わい親睦を深めていました。2日目には持ち寄り読書会が開催された他、大会運営者(執行部)により「新たな組織強化基本方針の策定」(案)について説明を行った後、大会参加者による全体協議が行われ、女性も正組合員になってJA経営への積極的な参加・参画について取り組んでがんばって行きましよう」と大会を終えました。



11月10日～11日、シャトレレーゼガトーキングダムサップロにおいて、平成28年度JA北海道女性大会・北海道家の光大会が開催され、当JA女性部の役員8名を含む550名が全道各地から参加致しました。(株)UF

食と農の未来づくりフェスタ

11月13日、石狩農業の未来について農業者のみならず、一般市民も一緒に考える機会として石狩市市制施行20周年記念事業の一環として「第3回いしかり食と農の未来づくりフェスタ」が行われました。

今回は、地域力がつくる農業の高付加価値化「地域資源を知る・見つける・つなげる」をテーマにさらには、その際に市民にできることは何か？をテーマに基調講演として事例報告を行いました。



落花生研究会、須藤聖治会長のプレゼンテーション



青年部代表として、事例報告をする増田崇紘部長

焼酎「芋男氣」の取り組みを青年部を代表して増田崇紘部長が、「落花生研究会」の取組を落花生研究会（準備会）須藤聖治会長がそれぞれの活動等をわかりやすくまとめプレゼンテーションを行いました。

終了後には交流会を行い、落花生を使ったドレッシング、炊き込みご飯等の試食や冷凍ゆで落花生の販売、サツマイモ焼酎「芋男氣」の試飲、販売などを行い、たくさんの方から高評価を受けました。

とれのさと長イモ・ごぼう即売会開催



更に今年も大勢のお客様で賑わいました

地物市場とれのさとにて11月12日、13日の二日間の日程で長イモ・ごぼう即売会が開催されました。両日共に生憎の空模様となりましたが、長年好評を頂いているイベントだけに沢山のお客様が来場され、12日は今年一番の売上となり、昨年の長イモ・ごぼう即売会で記録した過去最高売上記録を上回り、両日で595万円の実績となりました。

「毎年、本州の親戚が石狩の長イモを楽しみに待っている」と贈り物にされるお客様が多いほか、

4kg袋売りのごぼうも好調な売れ行きとなりました。とれのさととは、長年のお客様さまの要望にお応えし、新たな試みとして12月から翌3月まで冬期営業も行います。冬期営業時間は10時から15時まで、定休日は毎週月曜日と変更しますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



過去最高売上記録を達成しました



生産者の声を原点に！
一日ホクレン開催される



11月8日、当農協2階大会議室において、ホクレン札幌支所（関根支所長以下9名）と当農協（役員、青年・女性部3役、職員計20名）との一日ホクレン（意見交換会）が開催されました。

この会合はホクレンの行っている事業をより理解いただく事と農協や生産者の意見・要望を聞き、より一層の組合員のための組織作りを目指して行われ、ホクレンより米麦農産課、生産資材課、農機燃料自動車課、営農支援室そしてホクレン総体の事業概況の説明があり、また、現状行っている資材コスト低減対策への取組報告がな

されました。
その後、青年部を中心に「米穀の価格の変動要因や海外に売り込みへの状況」「資材、スタンドでのホクレン品目に対する価格低減」「有機農産物の販路」などの意見、要望に対してホクレンとの意見交換が行われました。

また、閉会にあたり中村代表理事組合長より農協とホクレンとがより強く事業連携し低コストな生産資材、燃料等の供給、農産物の販売戦略の拡充を図り生産者個々の所得の向上、安定経営に寄与していくことを誓い閉会となりました。



増田青年部長の意見・要望の様子

「超高齢社会」到来!!

「介護」にしっかり備える充実保障をご案内します。

介護共済

ご加入できる年齢
40歳～75歳

1年間で 約92万円
月々の介護費用が、
ご自身やご家族の大きな負担になることも!

介護が必要になったとき、住宅改修費や月々の費用など、想像以上の介護費用がかかる可能性があります。

介護費用(月額)^{※1}
平均
7.7万円

介護期間^{※2}
平均
56.5か月
(4年9か月)

1年間で
約92万円
5年間で
約462万円に!

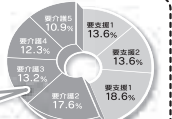
※1「支払った費用はない」を0円として平均を算出。介護に要した費用(公的介護保険サービスの自己負担費用を含む)のうち、月々の費用(月々支払っている(支払っていない)費用)。
※2介護を始めてからの期間(介護中の場合は経過期間)。
公益財団法人 生命保険文化センター「平成24年度 生命保険に関する全国実態調査」をもとにJA共済連試算

参考

家族への負担もかかる
要介護2～5が
認定者の半分以上

たとえ要介護2であっても食事や排せつなどに得らぬ介助が必要な場合がある状態のため、ご自身やご家族に体力的、精神的な負担がかかります。

要支援・要介護
認定者の割合
要介護2～5
認定者
54.1%



要介護状態になる原因は
加齢によるリスク
だけではありません!

要介護状態になる原因として「加齢」を想起しがちですが、病気や事故で、突然介護が必要になることもあります。

介護が必要になった5大要因

- 1位 脳血管疾患(脳卒中)
- 2位 認知症
- 3位 高齢による衰弱
- 4位 骨折・転倒
- 5位 関節疾患

一生涯の安心を
あなたに。

JAの介護共済は、
幅広い要介護状態に備えられる
充実保障。

公的介護保険制度 要介護2～5に認定されたとき または JA共済独自基準の 重度要介護状態になったとき ▶ 介護共済金をお受取りいただけます!

POINT
1

介護共済の3つのポイント

POINT
01

一生涯の介護保障で、
不安の高まる高齢期も安心。

長生きの時代を安心して暮らしていける、一生涯の介護保障です。介護の不安が増す高齢期にもしっかり対応。所定の要介護状態になったとき、「介護共済金」をお受取りいただけます。

POINT
02

公的介護保険制度に連動して、
幅広い要介護状態に対応。

JA共済の「介護共済」は、公的介護保険制度に連動したわかりやすい保障です。「要介護2～5」に認定された場合を対象とし、幅広い要介護状態を保障します。また、JA共済所定の「重度要介護状態」になった場合も保障しますので、公的介護保険の認定を受けられない方も、保障の対象となる場合があります。

POINT
03

さまざまに役立てられる
一時金でのお受取り。

「介護共済金」はまとまった一時金としてお受取りいただけるので、最も多くの資金が必要となる初期費用はもちろん、毎月の介護費用、収入減少分などに役立てられます。また、「共済年金支払特約」の付加により、年金方式でお受取りいただくことも可能です。

J Aグループ通信

大会実践フォーラム特集

毎月、JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介しておりますが、今回は、11月2日に開催したJA北海道大会実践フォーラムで発信した「JAグループからのメッセージ」をお伝えします。



「JA北海道大会実践フォーラム」では、昨年の第28回JA北海道大会の決議事項に対する実践機運を高めることを目的に「農業所得20%増大」と「550万人サポーターづくり」をテーマとするパネルディスカッションと、JAグループからのメッセージとして決議事項の実践状況を発信しました。以降、メッセージの内容を掲載します。

JA北海道中央会

私たちは大会決議事項である「所得20%増」「担い手倍増」「サポーター550万人づくり」「JAグループの人づくり」等、息の長い取り組みを続けて行かなければなりません。

今後も、協同の理念のもとで着実に実践を積み重ね、農業・JAの意義をグループ内外に積極的に発信し続けながら、北海道農業の価値を高めて行くことで道民や国民に信頼され愛されるJAグループになることを目指して参ります。



JA北海道信連

新規担い手倍増、農業所得増大の取組として、各連合会が連携しての「後継者親元就農」「ICT導入」等へ助成支援する『担い手確保・育成支援事業』の実施や後継者等向けに借換による償還負担軽減を図る資金を創設しました。



また、550万人サポーターづくりとしてコンサートレ通帳の発行、親子料理教室、「ドローン貯キャンペーン」の実施等、JAファンづくりに取り組みました。今後も、選ばれるJAバンクを目指して取り組んでまいります。

ホクレン

『販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営』を基本戦略とし、「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」の実践を通じて「農業所得の向上」を目指すとともに、経営の合理化による配当の向上、

主要品目全般における手数料の引き下げ、各種奨励施策の実施など、生産者・会員JAへの最大限の還元に努め「皆様に選ばれるホクレン」を目指します。



JA共済連北海道

「相互扶助」を事業活動の原点に「ひと・いえ・くるまの総合保障」により、組合員・利用者が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しています。



今後も引き続き農業経営に貢献する取り組みと、JA支援の強化を重点事項として、地域密着の社会貢献活動を展開しながら組合員・利用者との結びつきを深めてサポーター550万人づくりに取り組みます。

JA北海道厚生連

厚生連は、設立以来「農民の健康保持と生活文化の向上」を目指し、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに寄与してまいりました。今後についても、

地域のつながりを守る生活基盤としての機能発揮と、道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりへの貢献を「医療・健康管理・高齢者福祉・配置薬」の視点から推進し、取り組んでまいります。



農業改良普及センター

今月の技術情報

農業改良普及センター

平成28年12月1日
石狩農業改良普及センター石狩北部支所
TEL (0133) 23-2146 FAX23-2887

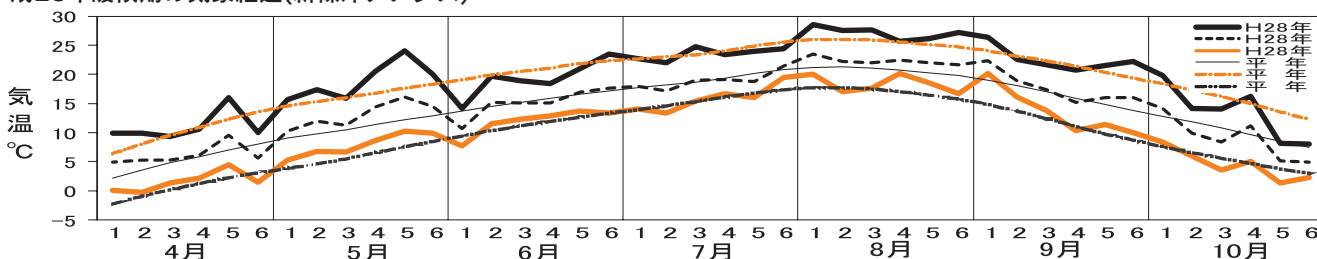
平成28年度気象経過並びに主要農作物の生育状況

1 気象経過

- 平成28年春の融雪期は4月5日で平年より6日早く、ほ場の乾燥が順調に進んだことから、畑地の耕期盛期は平年より7日早い5月1日、水田の耕期盛期は平年より2日早い5月6日となった。
- 5月は高温多照に経過したが6月は一転して低温日照不足となった。5月6半旬以降の断続的な降雨に加えて6月4半旬にはまとまった降雨があり、この期間だけで平年の3倍を超える降水量となった。
- 8月には台風7号、9号、11号が相次いで北海道に上陸したことから、8月4半旬の降水量は平年の10倍を記録し、一部地域では作物や施設で大きな被害を受けた。

2 生育の概要

平成28年暖候期の気象経過(新篠津アメダス)



水稲 ~ななつぼし(中苗)~

- は種期は平年より2日早く、出芽は良好であった。
- 育苗後期の日照時間が多く、苗質はやや徒長気味となった。
- 移植作業は順調に進み活着は早かったが、苗の徒長と強風により植え傷みが生じ、初期分けつの発生が緩慢であった。
- 6月4半旬までの低温・日照不足により進んでいた生育は幼穂形成期で平年並に戻り、出葉数が多かったことから止葉期及び出穂期は遅れ気味となった。
- 穂数が多かったことから登熟は緩慢になり収穫作業が遅れていたが、相次ぐ台風の上陸に伴う断続的な降雨により、収穫終は平年より9日遅れとなった。

	生育期節							農作業		
	出芽期	活着期	分けつ始	幼穂形成期	止葉期	出穂期	成熟期	は種期	移植期	収穫期
H28	4月25日	5月28日	6月10日	7月5日	7月22日	8月2日	9月17日	4月20日	5月23日	9月30日
平年	4月29日	6月1日	6月12日	7月5日	7月21日	7月31日	9月13日	4月22日	5月25日	9月23日
遅速	早4	早4	早2	±0	遅1	遅2	遅4	早2	早2	遅7

生育状況		草丈(cm)	葉数(枚)	茎数(本)	遅速
5月15日	H28	11.2	3.1	110	早4
	平年	10.1	2.5		
6月1日	H28	16.2	4.3	110	早4
	平年	14.7	3.6	108	
6月15日	H28	22.7	5.6	131	早2
	平年	21.7	5.4	138	
7月1日	H28	34.0	8.2	483	早1
	平年	35.8	8.0	467	
7月15日	H28	55.0	9.8	690	±0
	平年	61.6	9.9	675	
8月1日	H28	70.4	10.8	636	遅2
	平年	87.0	10.6	603	
8月15日	H28	90.7	10.8	611	遅1
	平年	94.0	10.6	583	
9月1日	H28	9/1現在では穂数→		607	遅4
	平年			581	

秋まき小麦 ~きたほなみ~

- 降雪量が少なく融雪が早かったため起生期は平年より10日早まり、冬損の被害も少なかった。
- 起生期頃の適度な降雨により追肥の効果が高く現れ、草丈・茎数は平年を大きく上回った。
- 6月4~5半旬にかけての低温・日照不足により、登熟は緩慢になった。
- 成熟期の生育は草丈・茎数が平年を大きく上回り、一部は場で倒伏が見られた。
- 収穫始は平年並だったが、その後の降雨により収穫終わりは平年より4日遅れた。
- 調製中の麦は細麦傾向が見られ、収量は昨年を下回った。

	生育期節						農作業		生育期節	
	H28年産						H29年産			
	起生期	幼穂形成期	止葉期	出穂期	乳熟期	成熟期	収穫期	は種期	出芽期	
H28	4月8日	5月3日	5月23日	6月1日	6月23日	7月19日	7月29日	9月19日	9月26日	
平年	4月18日	5月11日	6月1日	6月11日	6月28日	7月21日	7月27日	9月22日	9月30日	
遅速	早10	早8	早9	早10	早5	早2	遅2	早3	早4	

生育状況		草丈(cm)	茎数(本)	遅速
5月15日	H28	36.6	1592	早9
	平年	22.5	1314	
6月1日	H28	76.1	1085	早10
	平年	50.2	978	
6月15日	H28	91.1	965	早8
	平年	77.4	696	
		稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本)
7月1日	H28	81.2	9.4	834
	平年	78.0	9.0	618
7月15日	H28	81.0	9.4	834
	平年	79.0	9.0	618
8月1日	H28	81.0	9.4	834
	平年	79.0	9.0	618
		草丈(cm)	茎数(本)	遅速
10月1日	H28	8.2	202	早4
	平年	4.2	122	
10月15日	H28	13.5	285	早3
	平年	13.1	246	

理事会だより

第10回定例理事会 ～11月16日～

◆ 報告事項 ◆

- ① 農産物出荷状況等について
- ② 援農隊マッチング支援事業について
- ③ 余裕金運用状況報告について
- ④ 組合員加入・脱退状況について
- ⑤ 内部審査結果報告について
- ⑥ お歳暮の対応について
- ⑦ 事業進捗状況について
- ⑧ 年末手当の支給について
- ⑨ 農業委員会総会について

◆ 審議事項 ◆

- ① 出資金の減口について
- ② 規程の一部変更について
- ③ 除雪業者の選定について
- ④ 人事管理制度について

11月のあゆみ

1日	第3回石狩地区農協農政対策委員会
2日	JA北海道大会実践フォーラム
4日	巡回ドック(本店)
8日	経営会議
11日	企画会議
12日	長芋・ごぼう即売会(とれのさと)
13日	いしかり食と農の未来づくりフェスタ

16日	定例理事会 新穀感謝祭 地区別懇談会(北生振・大曲・八幡・個人)
17日	地区別懇談会(花畔地区・美登位)
28日	第3四半期自治監査～30日
29日	地区別懇談会(生振地区)
30日	地区別懇談会(五の沢・高岡1～5)



前回合併号で、ご案内しました2トン貨物の売却について申込締切日を、下記の通りとさせていただきます。

※ 申込締切日：平成28年12月15日(木)

十一月二十五日逝去
 平成年九十一歳
 享年九十一歳
 阿部清美
 生振第四組合
 十一月九日逝去
 平成年八十八歳
 享年八十八歳
 横山力
 生振第七組合
 十一月五日逝去
 平成年八十五歳
 享年八十五歳
 三宅徳明
 高岡第一
 計報

総務課

年末年始業務のお知らせ

	各事務所	12月29日(木)	12月30日(金)	12月31日(土)	1月1日(日)～3日(火)	1月4日(水)	1月5日(木)
本店	金融共済課 総務課	通常営業	通常営業 ATMは17:00まで	休業	休業	通常営業	通常営業
	営農経済部	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業
	八幡給油所	通常営業	通常営業	午前中まで 営業	休業	通常営業	通常営業
花畔	花畔支店	通常営業	通常営業	休業	休業	通常営業	通常営業
	花畔給油所	通常営業	通常営業	7:00～18:00	8:00～17:00 ピット作業は休業	通常営業	通常営業

年末年始の休業期間中
事故対応(カード・
届出印・通帳の紛失)

JAバンクキャッシュカード紛失協同受付センター
【休日24時間対応】【平日17時～翌日9時】 **連絡先** 0120-944-904(フリーダイヤル)

年末年始の休業期間中
事故対応(交通事故
車両トラブル等)

事故受付：JA共済事故受付センター(365日24時間対応)
連絡先 0120-258-931(フリーダイヤル)

新 規 就 農 者 情 報

池 端 優 さん

○プロフィール

出身地	石狩市樽川
就農前の職業	作曲家（商業音楽）舞台音楽・クラシック・ロック等
就農地区と就農年数	樽川一班 平成27年1月より、1年10ヶ月程。

Q 就農に至った理由は？

亡くなった祖父の酪農経営を若い頃よりいつか引き継ごうと考えていました。

Q 栽培作物は？

アスパラ	100アール	とれのさと(直売所) メインに 出荷しています。
にんにく	1アール	
とうもろこし	20アール	
落花生	0.5アール	



Q 就農してみたの現在の感想は？

現在ホルスタイン(乳牛)の育成を行っていますが、酪農家の減少により出回る子牛が少なく、現在高騰(数年前の2倍)しており手に入れにくいという問題があります。

しかし自家(牛糞)堆肥を野菜の生育に利用する事ができ、自信を持って野菜をとれのさとに出荷しています。

Q 将来の目標や予定は？

今後、乳牛だけではなく、黒毛和牛の育成を行って、将来的には「樽川ビーフ」ブランドを広めていきたいと考えています。

